



乗馬クラブが
オープン！

神郡に「ツクバハーベストガーデン」という乗馬クラブが出来た。プレオープンが5月24日、正式オープンは7月初旬の予定である。さほど変化のない地域に新しいお店や施設ができるのは、少し心が躍ります。この乗馬クラブは、御殿場にあったオーナー（赤穂恭子さん）が、自然豊かな筑波山ろくが気に入って、新設したものです。田井小学校の裏手、筑波山が良いロケーションで見える場所です。昔の「氷溜め」の場所とかぶりです。

ゲートをくぐると、右手にお洒落なカフェがあり、牧場にすばらしく手入れされた馬たちがいます。馬といえば昔、「馬がしゃべるそんな馬鹿な」（ミスター・エド）という海外ドラマをやっていました。その姿はなんとも気品のあるもので、馬に芸術性を感じる人も多いでしょう。馬は全部で、9頭で、ポニーもいます。ポニーの名は「サイダー君」といって、御殿場にいた時大変人気があったそうです（ポニーは貸し出しもします）。「引越してきて、馬たちも大変ですね」というと、一時的に沼田の「りんりん道路」近くにいたので、この土地や空気には慣



気品のある姿ですね

れているとのこと。馬のほかにも、猫8匹、犬3匹、モルモット1匹、コジュケイ1羽、うさぎ11羽がいてミニ動物園のようです。施設は、馬の牧場、牛の牧場、馬の散策コース、フラワーショップ、カフェ、ドッグ・カフェなどたくさんあって、さらには無農薬野菜や果物も収穫できるようになるそうです。癒しの空間が徐々に充実していくわけですね。スタッフは全員、馬術競技をしてきた人たちで、レベルは全国クラス。なかでもお嬢さんの赤穂久未さんは国体馬術で優勝したこともあります。体験乗馬もできるし、庭を眺めて、コーヒーを飲みに行くのもいいでしょう。「すそみ」にまた新しい空間が出来上がりました。連絡は(株)ツクバハーベストガーデン（つくば市神郡13312）029186710783

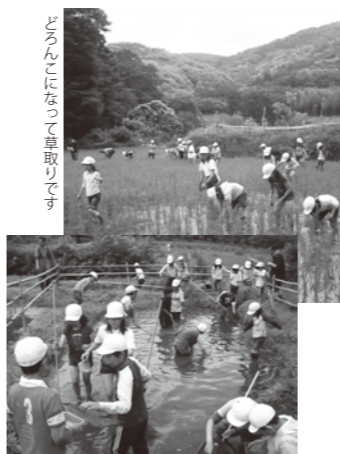
榎田智司（六所地区）



田んぼの草取りと
生きもの観察会

6月17日(水)、太陽がぼつかりと顔を出した梅雨の晴れ間、田井小学校の4年生22名が、神郡にある谷津田で、田んぼの草取りと、生きもの観察会をしました。これは4年生の「自然を見直そう」という総合学習の授業です。指導は、里山を保全し生き物のために無農薬で米づくりをしている「つくば環境フォーラム」のメンバーの方々です。

田んぼの広さは約300坪。20センチほどに元気よく伸びた苗が子どもたちを待っていました。初めはひざまでの泥に足をとられ動けなかった子どもたちもすぐに慣れ「なんか気持ちいい」と、おおはしゃぎ。草取りの後は田んぼやため池に入って生き物を採集しました。おたまじやくしややごなど、たくさん生き物に、自然環境の大切さを学びました。上野節子（小沢地区）



何がいるかな？

ルポ

道標も設置 整備進む白滝古道 夏の、歩いてみませんか？

かつて山すその集落のひとたちが使っていた古い道。そのひとつ白滝までの道の整備、復活を行ってきましたが、編集部が「足先に歩いてみたルポをお届けします。現在では道標なども整備され、より歩きやすい道になりました。涼を求めて、この夏歩かれてはいかがでしょうか？」

一昨年9月、すそみろく編集委員が、夏草の生い茂る中をナタや鎌を持って枝を払いながら進んだ道がきれいになったと知り喜びと感動でいっぱい。若葉の薫る5月19日、古道復活の立役者つくば森林クラブ・つくばフォレストクラブの会員を中心に、郷土史家井坂敦實先生も交え、総勢21名の参加。職業も年齢も様々、しかしながら古代からの地に伝わる古の道への想いは皆熱い。

●六所から白滝へ

まず六所大神宮跡の脇の道に入る。この春「六所照庵」と手水舎が建てられ、社の木々も整枝、新たに桜の苗木も植えて、きれいに整えられていた。ゆるやかな登り坂。前回はこの辺り、道も定かでない一人がやつと通れる程の所だったのに……。杉は間伐され、倒木、藤蔓などきれいに取り払われ、3人並んで歩いても充分な横幅、そこかしこに野あざみ、えごの花、野いばら、名も知らぬ初夏の山の花が爽やかに愛らしい。阜月の薫風を身体中に染渡らせながら

20分程登ると突然眼下に田植えの終わった田んぼが広がり、大地には巨石が……。宮山の頂上である。豊かな里山の風景、人間と自然の一体感とでもいうのだろうか、穏やかな気分になる。

宮山山頂にて



山頂から望む景色



白滝神社

白滝の涼やかな流れ



われ、後にはきれいな広場が作られ、テーブルや椅子・ベンチが置かれていた。沢水に足を浸し、幼子と夏の一日を過ごしたいと思う程きれいな水の流れ。樅や杉の大樹に囲まれて豊かな緑を背景とした白滝のほとりは神秘的な気配さえする。苔むした石段を88段程上り白滝神社にお参りし、若葉の木陰で昼食。風・鳥・沢・青葉が奏でる自然の協奏曲を聴きながら……。この情景を作曲出来ぬ我が身が空しい。

●白滝から白井へ

腹こしらえをした後、白滝のガマ石に再会を果たし、再びふれあいの里へと下る。未だ明らかでない嬋歌の場、途中「この辺りが嬋歌の行われた場所であろう」と井坂氏が指摘された所は茫茫としたやぶの中、巨

編集を終えて..... 筑波山麓の魅力を発信することで、この地域を応援する人を増やし、森や田畑や歴史文化を守り育てることを目指してきました。「すそみろく」、本号で丸3年となくほどに驚きと感動の多いこと！『すそみ』って本当にいいとこだねえ』というの、編集委員の合言葉となりました。これからも継続していきたいと思っておりますので皆様のご支援ご協力をお願いします。



敬称略

つくば市白井	菊地つよい
つくば市神郡	池田牧子
つくば市大貫	松崎とし
土浦市西根	出口正義
筑波大学教授	上野陽
千葉県浦安市	勝亦敏子
東京都渋谷区	柴幸子
神奈川県伊勢原市	真崎泰子
神奈川県相模原市	

※協賛会員「すそみサポーター」募集中！ 1口3000円

デザイン・小沢陽子（漆所地区）



私たちが応援してます！

第12号

すそみろく

筑波山の山麓一帯を「すそみ」と名づけました

第12号（平成21年7月10日）

発行・すそみろく編集委員会

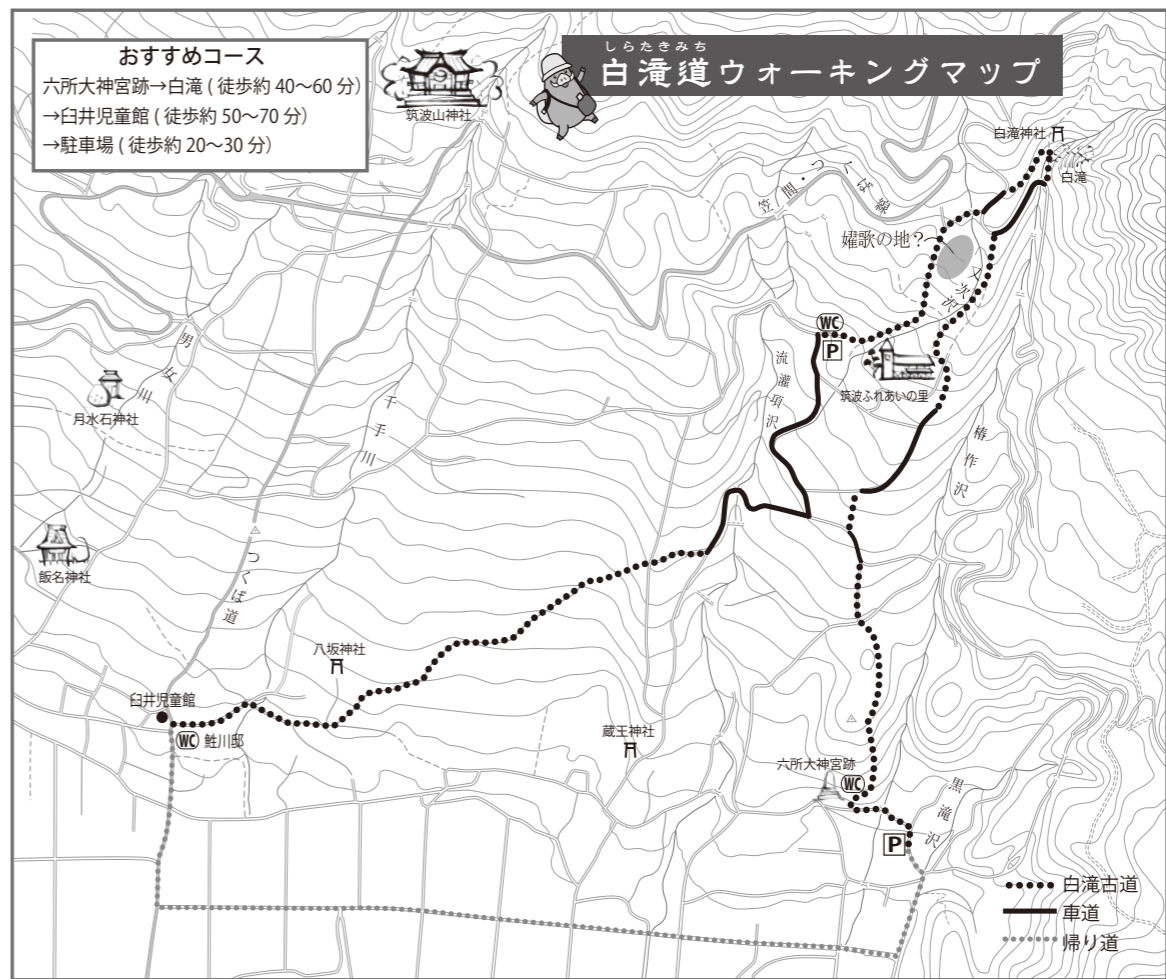
TEL029-866-1122（田井の里地域づくり愛好会・森田）
TEL029-863-5151（NPO法人つくば環境フォーラム・田中）



石と平らな場所があるはずだと言う。古道復活隊のこれからの活躍に一同期待が高まる。

なだらかな下り坂、古道の姿を残している石段を踏みしめながら白井

八坂神社に向かう。冬の間にクラブの人達が草刈りをして整えた道、すでに草丈は高くなっているが充分に歩くことが出来る。今年3月に植樹した「八坂神社の森」は、黒松、檜



桜がしっかりと根付き、次世代への大切な「森の贈り物」は芽を出し始めていた。古道の終わりは築120年の鮭川邸でゆつたりとした時を過ごす。

今人々は「真の豊かさとは何か」を自覚し文化技術を磨き始めている。多くの人々の力と時間を費やして、再び「白滝古道」は現代の人々に人間と自然とのバランスのとれた豊かさを喚起させ、幸せを分け与え始めているような気がしてならない。「古きを知ることは新しき幸せの始まり」そんな気持ちを強くさせてくれた一日であった。

石井博子(神郡地区)

白滝神社概要
「新治 筑波を過ぎて 幾夜か寝つる」と詠われた、日本武尊が東征のさい、鬱蒼と茂る筑波山中の滝のある付近で道に迷ったとき、白鳥が飛来し、道案内を務めてくれたので、無事東征の目的地に向かうことが出来たことから、この滝のある地を白滝と命名し、社を建立したと言う。言い伝えがある白滝神社は、六所大神宮跡から筑波山の女体山に登る中間地にあり、山岳信仰の拠点であった。

白滝をみて、一遍上人(時宗の祖)が「くり出す手にもみだるる白滝の玉をつらぬく糸のかずかず」と詠んだという。(筑波山名跡誌より)

現在もこの神社に来ると靈感を感じると言い、寒中の滝で禊をする方が多い。

鎮座地 つくば市白井字白滝2099

祭神 日本武尊(たまもとたけるのみこと)

祭例大祭 8月28日

境内 2425坪

森田源美(六所地区)

地面が固いとかなかなかたいへんです



●夏祭り
神郡祇園祭り 7月19日(日)／山車、神輿がにぎやかに町内を練り歩きます。

白井八坂神社の御神火 7月18日(土)はおかがり(20時点火、7月19日(日)子どもみこし(9時)大人みこし(15時)杉ノ木稲荷万燈 8月23日(日)17時頃から子どもたちが描いた約30基の万燈で神社までの参道を飾ります。

●平沢万灯
8月22日(土)18時～21時／雨天時23日(日)遺跡の復元建物をライトアップ、八幡神社までの道を万灯で飾り幻想的な光の世界を演出します。

「問」平沢官衙遺跡案内所
029-8667-1584

●田楽の集い 稲刈り
9月13日(日) 10時～15時／雨天中止／参加費大人1000円、学生・障害者・小人500円(昼食付)／筑波山の麓の谷津田で無農薬の米づくり。黒米や赤米を手刈り、あぜで創作「田楽舞い」もあります。

「問」NPO法人自然生クラブ
029-8666-2192

インフォメーション

●「すそみの田んぼ」棚田の稲刈り
9月22日(火・休)10時～15時／参加費900円(昼食付)／生き物のために、沢水だけで無農薬の米づくりをしています。／支援金募集中(収穫量に応じお米の配分あり。詳しくはお問合せを)／「問」NPO法人つくば環境フォーラム029-8663-1515



道標完成!

●白滝道の道標づくり

道標づくりの作業の日は朝から雨でしたが、森田源美・田井の里地域づくり愛好会会長宅の門の下で作業をしました。スペースは畳4枚ほど、屋根つきで、悠々と作業ができます。この門は、会長のお母様のお嫁入り直前に母屋が火事で焼けたときにも焼けずに残ったとのこと。森田家の歴史をずっと眺めてきました。「嫁入り直前に家が火事で燃え、母はさぞ難儀したでしょうね」と今は亡きお母様を思う会長のままざしがひときわ優しくなりま

「しらたきみち」の文字を、型紙と黒いスプレーを使って印字していきまし。杭を運ぶ、型紙を乗せ固定スプレー、別の作業台へ移動、ドライヤーで乾かすなど、流れ作業で40本の道標が次々とできました。看板2枚もつくり、作業は2時間ほどで終了。奥様の心づくしの昼食を、きれいなお庭を眺めながらいただきました。

●道標立てと草刈り作業
40本の道標を立てる作業は、草刈りとともに、「すそみろく」のメンバーと「つくば森林クラブ」「茨城県ウォーキング協会」の応援団が集まり実施。六所大神宮跡からと白井のつくば道からの二班に分かれて作業を開始。筆者は六所からの班に加わり、山道を登りながら、ポイントに道標を打ち込み、油性マジックで

ある。春霞にけぐる夕景の美と鐘の音が詠まれた詩である。しかし、惜しいことに残りの七景が詩集にない。なんとも残念である。残りの七景の存在をぜひとも知りたいものである。

遮那ひろみ(神郡地区)



神郡八景の存在が最近明らかになった。事の発端は、拓本の世界に造詣の深い桜井孝氏(神郡地区)の紹介で、飯田繡嶺先生(1785~1832)墓碑の拓本をとるために水戸市に住む鈴木健夫氏が、普門寺を訪れたことにある。繡嶺先生は、医者として、また文人として多くの業績を残したと、その墓碑に讃えられている人物である。鈴木氏はその後偶然にも「繡嶺先生詩集」が現存するのを発見。そしてその中に「普門寺晚鐘 神郡八景之一」という詩が詠まれていたので



絵: 榎田未緒(田井小学校5年)

つくばね 夏季ビジター優待(7~9月)
カントリークラブ

土・日・祝	16,000円	セルフ・乗用カート・昼食付
平日	8,300円	
*キャディ付はプラス2,000円		
ジュニア料金(18才まで)	薄暮(午後からのプレー)	
セルフ5,000円(昼食付)	平日	土・日・祝
	ハーフ	4,200円 6,000円
	1Rスルー	7,000円 11,000円
*学生証など年齢確認できるものを提示		
TEL 029-866-0224 までお電話ください		

Tukuba Harvest Garden

所在地 茨城県つくば市神郡 1312
TEL&FAX 029-867-0783